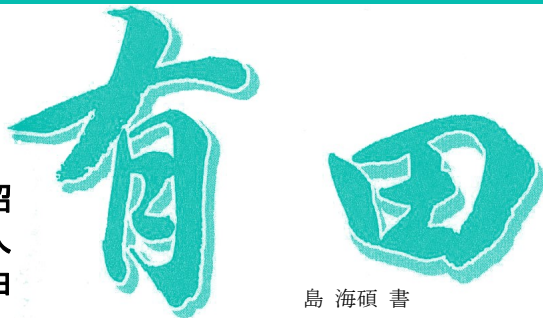


No. 3125

2025-2026年度

会 長 木本 隆昭
幹 事 児嶋 正人
広報小委員長 福田 一由



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう

みんなに会おう」



次回のお知らせ

令和7年9月4日 第3127回

・会員卓話：成川 暢彦 君

・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

します。勉強させていただきます。

出席報告

〔例会運営小委員会 上野山(捷)委員〕

本日の出席者17名/24名

(うち出席規定免除者4名/7名)

会長の時間

〔木本会長〕

今日は、8月9日に児嶋幹事と出席した、有田ロータリーアクトクラブOB懇親会についてお話しします。7月14日に、有田RC会長宛てで開催の案内が届きました。かつて、ロータリーアクトクラブが活動していたのは知っていましたが、ロータリークラブとロータリーアクトクラブ双方の会員数減少により十数年前に解散したと聞いていました。

その日の懇親会は、鮎茶屋にて12時から15時まで開かれ、参加者は有田ロータリーアクトクラブOBの方が16名、ロータリークラブからは私と児嶋幹事の2名の18名でした。最初に開会のRACソングを斉唱し、次にOB懇親会幹事の阿戸繁春さんからのご挨拶がありました。阿戸さんはかつて、RI2640地区ロータリーアクトクラブ代表を務めたことがあるとの事でした。また、今回をもってOB懇親会を最後とすると話されました。次に私も簡単な挨拶をさせていただきました。内容としては、現在会員は減少し24名しかいないことや、私が入会して9年目になる事、そして今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」であるので、先輩にあたるロータリーアクトクラブOBの方々にロータリークラブ入会のお願いなどをしました。次に児嶋幹事の挨拶があり、永広和男さんの乾杯ご挨拶のあとにご歓談が始まりました。暫くしてから参加者の自己紹介やRACの思い出、近況報告などが話されました。印象に残っているのは、あるOBの方の



本日のプログラム

令和7年8月28日 第3126回

- ・外部卓話：間下敦司氏（地区 地域社会奉仕委員会委員長）森山ジェニー氏（地区 RLIファシリテーター）
- ・ソング：「我等の生業」

前回の報告（第3125回例会）

開催日 令和7年8月21日(木)

点 鐘 〔木本会長〕

ニコニコ箱の報告

〔川口SAA〕

木本君：手島所長、本日の卓話宜しくお願ひ致します。
児嶋君：手島政嘉君、本日の卓話よろしくお願ひ致します。楽しい話し期待してます。
成川(守)君：手島様、卓話ご苦労さまです。
石垣君：手島様、卓話御苦労様です。よろしくお願ひします。
岩橋君：手島政嘉君、卓話楽しみです。
上野山(捷)君：手島政嘉様、本日の卓話ありがとうございます。
松村君：手島政嘉様、お話し楽しみにしています。
上野山(栄)君：暑い日が続きますね。まだまだビールのおいしい季節です。クラフトビールよろしくです。手島さん本日頑張って下さい。
橋爪(誠)君：手島様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
井上君：手島さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
菅原君：手島さん、卓話楽しみにしています。先週ちょっとソウルに行ってきました。日本より少しだけ涼しかったです。
嶋田君：手島さん、卓話よろしくお願ひします。楽しみにしています。
手島君：本日は卓話の機会をいただき有難うございます。拙い内容ではありますが宜しくお願ひします。
福田君：手島所長さん、本日の会員卓話よろしくお願ひ致します。
酒井君：手島様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
川口君：本日の会員卓話、手島政嘉君、宜しくお願ひ致

「RACは私の青春そのものであった」との言葉でした。当時、RACに在籍できる年齢は28歳までらしく、本当に青春時代の純粋な気持ちで奉仕活動に励まれていたのだろうと思いました。

みんなでカラオケなどを楽しんだあとに、中谷桂三さんから閉会の挨拶がありました。お話の中で、最初の阿戸幹事の挨拶の時にOB懇親会は今日で最後と言われたが、まだまだみんな元気だし、たまに集まって歓談するのはやはり楽しい。なので、次回も開催しようということになりました。そして、次回の幹事は中谷桂三さんと川端孝子さんに決まりました。その時にはまたお誘いがあるかもしれません。

帰り際にお礼を言ったときには、幹事の阿戸さんから、「奉仕活動で手伝える事があれば何でも言ってください。」と、何回も言っていたいただきました。

ローターアクトクラブOBの方と初めて一緒に過ごしましたが、28歳までという限られた時間の中で育まれた絆の強さを感じました。そして、この方たちがローターアクトクラブに入会していただけたら活気がでるだろうなと思いました。

幹事報告 [児嶋幹事]

1. 米山専用アドレスのお知らせが届いています。
2. 2025-2026年度クラブ米山委員長会議及びカウンセラー会議の案内が届いています。(中村吉伸君参加)
3. ローター米山記念奨学会からハイライトよねやま305が届いています。 回覧
4. 地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内が届いています。 回覧
5. 8月9日(土)鮎茶屋で有田RAC OB 会が開催され木本会長・児嶋幹事で出席して来ました。全体で18名参加(懐かしい青春の時の話で盛り上がっていました。)
6. 有田経済クラブから、クラブ通信が届いています。 回覧
7. 粉河RCから週報が届いています。 回覧
8. 例会変更のお知らせ 後方掲示



ロータリー友誌の紹介

[クラブ広報小委員会 福田委員長]

【横組】

P3 RI会長フランチェスコ・アレツォ氏のメッセージが掲載されています。8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」ということで、会員増強とは、単に会員数を増やすことではなく、新しい扉を開くことであり、自分自身の大きな目的のために時間や才能、心をささげたいと願う人々を迎い入れることであると会長は述べられています。



P6-9 九州地方の大分県と熊本県を拠点にし、ウェブサ

イト上で例会を開いている2720JAPAN O.K.ロータリーEクラブのクラブ活動が紹介されています。ひとり親家庭への奉仕事業として、七五三の和服の着付けやヘアメイク、国際奉仕としてフィリピンのシキホール島の子供たちへ足踏み式ミシンを寄贈したこと。また、参加者の基盤を広げる活動として、リーダーシップを学び発揮できる環境のサポートをするために、大分県の大分上野高等学校へのインターアクトクラブの提唱や、30歳以下の人の入会金や年会費を下げることで、入会のハードルを下げる構想が紹介されています。その他にも参考となることが記載されていますのでご一読下さい。

P10-11 入会候補者にとって入会したいと感じてもらうための例会のポイントについて、東京麹町RCの若林英博氏の地区研修協議会での講演内容が、「戦略的オープン例会10のポイント」として紹介されています。単にゲストを招く例会ではなく、ゲストが居心地よく過ごせるようにするため、ゲストの情報を事前に共有し、会員が役割分担して温かく迎える。また、卓話や座席にも配慮して、フォローアップを徹底することをポイントとして挙げています。

P12-17 6月21日から25日に開催されたカルガリー国際大会が紹介されています。世界中から1万6,000人が参加し、非常に有意義で盛り上がった国際大会であったことがうかがえます。皆様もご一読願います。

P22-23 2025-26年度のRI理事会のメンバー紹介です。日本からは東京飛火野RCの水野功氏が理事に就任されております。

P34 第2640地区の堺おおいずみRCの「平和を願う授業とアート制作」の事業が紹介されています。堺市立東百舌鳥中学校3年生を対象に、沖縄県への修学旅行に関する平和教育の一環として、「キッズゲルニカプロジェクト」の支援を行ったことが紹介されています。

【縦組】

P2-6 国際政治学者で放送大学名誉教授でもあるの高橋和夫氏が、埼玉県越谷RCの夜間例会で、トランプ大統領の世界戦略について講演した内容が紹介されています。250年のアメリカの歴史から見た場合、アメリカ・ファーストを掲げる戦略はそれほど異常ではないという話を、歴史を振り返りながら述べられており、トランプ大統領はアメリカの歴史において、アメリカ・ファーストを掲げた多数派の一人であると語っています。

P7-10 「この人訪ねて」のコーナーで、千葉県勝浦RCの酒井秀光氏が紹介されています。酒井氏が立ち上げた通信制高校について、立ち上げ経緯や現在の活動状況が記載されていますのでご一読下さい。

卓 話



会員
手島 政嘉 君

「ENEOS和歌山製油所

精製機能停止後の状況について」

ご存知の通り2023年10月にENEOS和歌山製油所の精製機能を停止しました。東亜燃料工業設立以降、和歌山・有田の地で82年間の長きに亘り継続してきた石油精製機能を停止したことは、地域の皆様に大変な不安とご心配をお掛けしております。現在、弊所では事業再構築に向けて取り組んでおり、石油精製機能停止後の状況についてご紹介いたします。

2022年1月にENEOS和歌山製油所の精製機能停止を発表しました。その1か月後から「和歌山製油所エリアの今後の在り方に関する検討会」を発足し、精製機能停止後の跡地活用について検討を継続しております。当検討会には、和歌山県・有田市・海南市・経済産業省・近畿経済産業局の方々に参加いただき、ENEOSにおける新規事業検討について議論しております。2023年9月には、中間答申としてグランドデザインを公表しました。弊所を『未来環境供給基地』として、石油基地からカーボンニュートラルを先導するGXモデル地区を目指すことや、ENEOSの事業を主体とする「次世代エネルギー供給ゾーン」と企業誘致を主体とする「新産業創出ゾーン」のゾーニングをコンセプトとしています。

2023年10月に原油処理を停止し、操業開始以来82年間にわたりエネルギー供給という使命を全うした装置や設備への感謝の意を込めて神事を執り行い、原油受入れ配管のバルブ閉止などの火止め式を行いました。10月中の精製機能停止以降、無害化作業(装置内やタンク内に多量に残る危険物を取り除く作業)へ移行し、現在も継続しています。装置地区の無害化作業は2025年度を目途に完了予定であり、タンク地区については2029年度を目途に完了予定であります。

2023年11月に和歌山製油所から和歌山製造所へ名称を変更。同月に和歌山製造所でのSAF(持続可能な航空燃料)製造に関する事業化調査を行うことを公表しました。現在は来年以降の最終投資判断に向けて、詳細設計検討を鋭意行っています。また、従来から継続しています自動車メーカー向けの特種燃料事業については、今後も和歌山製造所で継続することが決定しています。

SAF事業など新規事業や企業誘致に向けて、不要な設備やタンクについては、無害化作業完了後、優先順位をつけて順次撤去工事を行います。現在までに原油タンク10基の他に精製装置の一部の撤去が完了しています(状況についてはスライドにて紹介)。

最後にSAF事業について概要を説明いたします。SAFはSustainable Aviation Fuel(持続可能な航空燃料)の頭文字であり、国内外の廃食油・獣脂・非可食植物油を原料とし、和歌山製造所の各種装置で不純物を除去後、一定量を既存のJET燃料に混合するものです。SAFは原油由来の原料でないことから、カーボンニュートラルに大きく貢献します。和歌山県ではご家庭から出る廃食油の回収実証の取り組みを行っています。

例会風景



月見例会のご案内

日時：2025年9月18日(木)
18:30~

場所：Spicecurry Jin
(有田市宮崎町)

皆さま、ご参加ください!



日程	9月の例会プログラム
9/4(木)	会員卓話 成川 暢彦 君
9/11(木)	ガバナー公式訪問 「ガバナーアドレス」
9/18(木)	月見例会 YASUHIKO 氏
9/25(木)	休会